

創世記 第6-8章から、ノアが 神様の 声に  
聞き従って、大洪水から 家族や 多くの 動物を  
救った 物語を 読んでみましょう。

ノアは、神様の 声を 聞くことにおいても、  
神様が 言われたことを 行うことにおいても、  
大きな 信仰を 持っていました。たとえ  
神様から 聞いたことが 想像さえ できない  
ことだった 時もです。当時の 人たちには  
奇妙で 不必要だと 思えたことでさえ、ノアは  
従いました。何しろ、それまで 洪水なんて  
一度も なかったのですから。

神は、地上に 新たな  
生命を 回復させるという ご計画を  
教えてくださったのじゃ。

わたしは 神の 愛を 信じている。  
たとえ ほかの 者たちが 気がいじみて  
いると 思った ことでも、わたしは  
信じるよ!

旧約聖書に 出てくる 信仰の人

17

ノアが神様の指示に従って箱舟を作るには、神様の導きを信じる信仰が必要でした。洪水の時に乗る箱舟を用意しておくというノアの仕事を手伝うには、家族にも信仰が必要でした。

箱舟に乗せる動物たちの世話においても、彼らは神様を信頼する必要がありました。箱舟には、清い動物が7つがいつ、清くない動物も2つがいつ乗っていました。つまり、ノアの家族と動物たちみんなが次の年まで食べていくのに十分な食べ物も蓄えておく必要があったのです。

箱舟に乗った後、とびらが閉められ、これから何が起きるかも分かりませんでした。外で嵐が荒れくるっている間、神様が彼らを守り、必要なものを供給してくださると信じるには、どれほど大きな信仰が必要だったことでしょう。



「信仰によって、ノアはかわいた地のど真ん中に船を造った。まだ見ていない事からについて警告を受けたとき、お告げに従ったのだ。その結果は？ 家族が救われたのだ。」

(ヘブル人への手紙 11:7、「ザ・メッセージ」より)